

**6/30（火）開催の『Mobility Transformation 2026』に
ロボトラック CEO・羽賀氏、セイノーHD 専務執行役員・河合氏が登壇**

現場のデータ連携から見据える、サプライチェーンの未来像 ～自動運転は物流をどう変えるのか？～

モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：北川烈、以下「当社」）は、2026年6月30日（火）に開催する「Mobility Transformation 2026」に、株式会社ロボトラック（本社所在地：東京都中央区、代表取締役：羽賀 雄介、以下「ロボトラック」）の羽賀 雄介氏、セイノーホールディングス株式会社（本社所在地：岐阜県大垣市、代表取締役社長：田口 義隆、以下「セイノーHD」）の河合 秀治氏の登壇が決定しましたのでお知らせします。



15:50-16:10

現場のデータ連携から 見据える、 サプライチェーンの未来像

自動運転は物流をどう変えるのか？

MOBILITY TRANSFORMATION 2026

AI・データが自動車ビジネスの「構造」を変える

羽賀 雄介
株式会社ロボトラック
代表取締役CEO

河合 秀治
セイノーホールディングス株式会社
専務執行役員 ラストワンマイル戦略部
コールド戦略部
オープンイノベーション推進室 担当

滝川 麻衣子
株式会社EVeM
Chief Impact Officer

2026.6.30 Tue 13:30-18:50
@大手町三井ホール 定員：400名 参加無料

●セッション概要

日時	2026年6月30日（火）15:50～16:10（予定）
セッションタイトル	現場のデータ連携から見据える、サプライチェーンの未来像 ～自動運転は物流をどう変えるのか？～
登壇者	<ul style="list-style-type: none">●羽賀雄介 株式会社ロボトラック 代表取締役 CEO●河合秀治 セイノーホールディングス株式会社 専務執行役員 ラストワンマイル戦略部・コールド戦略部 オープンイノベーション推進室担当●滝川麻衣子 株式会社EVeM Chief Impact Officer

●登壇者プロフィール

羽賀雄介氏 / 株式会社ロボトラック 代表取締役 CEO

大学卒業後、三菱商事の自動車・宇宙航空事業にて新規事業開発やスタートアップ投資に従事。その後、SkyDrive の COO として空飛ぶクルマやドローンに関するビジネス全般を所掌し、事業戦略やパートナーシップ開発を推進。2025 年に共同創業者としてロボトラックの代表取締役 CEO に就任。

河合秀治氏 / セイノーホールディングス株式会社 専務執行役員

西濃運輸にドライバーとして入社後、2011 年に社内ベンチャーのココネットを設立。2024 年より、セイノーラストワンマイル株式会社 代表取締役社長を兼務。ラストワンマイル領域における事業戦略、新規サービス開発、グループ連携強化を推進している。現在はセイノーHD 専務執行役員として、新価値創造および新規事業推進を担う。

滝川麻衣子氏 / 株式会社 EVeM Chief Impact Officer (モデレーター)

経済記者や Business Insider Japan 副編集長、スクー執行役員 CCO などを歴任。現在はベンチャーマネジメントの型化・提供を行う株式会社 EVeM の Chief Impact Officer を務める。

●セッション内容について

本セッションは、「現場のデータ連携から見据える、サプライチェーンの未来像 ～自動運転は物流をどう変えるのか?～」と題し、物流クライシスが叫ばれる中、課題解決の切り札として期待される「自動運転」の拡大に向けて、企業の垣根を超えた共創がビジネスをどう変えるのか議論。激変する環境下で生き残るための「次世代のロードマップ」を、あらゆる産業の経営層に向けて発信します。

今回の「Mobility Transformation 2026」は、「AI・データが自動車ビジネスの構造を変える」がテーマ。モビリティ業界が、労働集約型のビジネスモデルからデータと AI を活用した「新収益モデル」への転換期を迎えているなか、従来の「車を売る」「直す」「貸す」「走らせる」と分断されていた自動車業界のビジネスモデルは人口減少や人手不足などもあり、単一事業での成長が限界に達しつつあります。一方で、車両から生み出される「データ」は、異業種を巻き込み、巨大な経済圏（エコシステム）を形成する資産へと変わり始めています。このような環境の下、当社は単なるコスト削減のための DX ではなく、自社の強みを活かしながら他社と連携し、新たな「稼ぐ仕組み」をどう構築するかという経営決断が重要と考えます。いかにして新しい「顧客体験」と「収益」を生み出すのか、『Mobility Transformation 2026』は、様々な有識者や企業の方々とともに、ビジネスの可能性を最大化する、最も重要な戦略の種との出会いを提供します。セッションや登壇者の情報は、随時公式 HP で発信予定です。

これまでに開催された 4 回とも大きな反響をいただいた Mobility Transformation。7 年ぶりのリアル開催となる今回も、多くの方のご参加をお待ちしております。

【イベント概要】

イベント名	Mobility Transformation 2026
メインテーマ	AI・データが自動車ビジネスの構造を変える
開催日時	2026年6月30日 13:30-18:50 (うち17:40-18:50 懇親会)
場所	大手町三井ホール (東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One 3F)
定員	400名程度
参加費	無料 (事前申込制)
お申込み	Mobility Transformation 2026 のページ よりお申込みください。
主催	株式会社スマートドライブ / 株式会社モビリティトランスフォーメーション

【スマートドライブのサービス】

「経営者とドライバーが使いやすい No. 1」※法人向け車両管理システム **「SmartDrive Fleet」**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/>

車両に関する書類 DX を促進するクラウドサービス **「SmartDrive Box」**

<https://smartdrive.co.jp/fleet/lp/smartdrive-box/>

ブレーキパッド残量可視化サービス **「BRAKEPAD SCAN powered by ADVICS」**

<https://smartdrive.co.jp/special/brakepadscan/>

AI ネイティブの統合データプラットフォーム **「AI Mobility OS」**

<https://smartdrive.co.jp/aimos/>

業界の垣根を超えたコミュニティ **「Mobility Transformation」**

<https://www.mobility-transformation.com/>

※日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要:2021年5月期_ブランドのイメージ調査

(「SmartDrive」、「SmartDrive Fleet」、「SmartDrive Box」、「BRAKEPAD SCAN」、「Mobility Data Platform」、
「Mobility Transformation」、「Vector G」は、株式会社スマートドライブの商標または登録商標です。)

■会社概要 株式会社スマートドライブ

会社名 : 株式会社スマートドライブ (東京証券取引所グロース市場:証券コード 5137)

設立 : 2013年10月

代表取締役: 北川 烈

所在地 : 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント 19階

URL : <https://smartdrive.co.jp/>

本件に関する報道お問い合わせ窓口: Email:pr@smartdrive.co.jp TEL:070-3250-4163 (佐藤)